

外国人困窮者支援のいま  
—北関東医療相談会月間レポート：2023年6月版—

■支援日誌

□6月2日「記者会見」

6月1日は、前橋記者クラブで民医連瀧口事務長と反貧困群馬の仲道さんで6月4日の記者会見を行いました。場所は記者クラブということで19社に報告しました。

私は、参議院法務委員会の報告をおこない、難民参与員の状況をお伝えしました。しかし、記者の皆様の反応は冷たく利根川の源流は冷たかったと思います。めげずに時間いっぱい難民問題を訴えてきました。





2023年5月22日  
特定非営利活動法人北関東医療相談会  
事務局長 長澤正隆

#### 【仮放免者の実情】

北関東医療相談会またはアミゴスの事務局長としてお話しします長澤正隆です。私たちの会は25年以上、東京及び北関東の近郊で困窮する外国人の支援をしてきました。今日は、日本で「仮放免」の状態に置かれている外国人の状況についてお話しします。

#### 1. 「活動の紹介」

私たちの活動は、1997年6月に群馬県伊勢崎市から始まりました。きっかけは非正規滞在のフィリピン人男性の胃がんによる死亡からです。以来2023年1月川口市において健康診断会まで64回3207人の生活困窮した外国人の健康診断と生活支援を行いました。

私たちの支援は、「すべての人が健康と平和な生活ができる共生社会の実現をめざし、特に外国籍・生活困窮者の為の保健、医療又は福祉の増進を図る活動（定款から抜粋）」「健康診断を中心とした健康であること支援する活動です」、健康とは何かを自問し「健康は生き抜く力（近藤克則著 健康格差社会より）」と考え、生活困窮の外国人の支援を行ってきました。

#### 2. 生活困窮した外国人の現状

生活困窮した外国人の特徴は、①在留資格が無い、②現金が無い、③健康保険を含めた社会的資源に繋がっていない、④言語困窮者、⑤支援体制が整っていない。

中でも仮放免者は、「入管から働いてはいけない」、「行動の制限」があることによってこれらの特徴は際立ちます。在留資格がないということは住民票がつけられず住宅も借りることがはばかります。

#### 3. 健康支援活動

健康診断会は、一般的な成人病の健診方法にのっとり、「普段医療機関を受診する機会の少ない国内外の貧困者の結核、成人病などの健康診断を受ける機会を提供します。必要に応じて診療所を自前で開設します」

会場には、「胸部レントゲン、検尿、 血圧、血液検査、 心電図（希望者）、 子宮頸ガン（希望者）、 診察、歯科検診のブース、通訳支援者、弁護士相談、生活相談、女性相談、食糧支援、中古衣類の支援を行います。

受診対象者には①受診費用:無料 ②交通費支給 ③無料法律相談及び病院紹介 ④治療費

## □6月5日「第65回医療相談会 開催」

皆様へ 「仮放免者のいのちを守る医療相談会」

第65回医療相談会と反貧困群馬の報告をします。反貧困の担当者が体調を崩し報告は次回以降です。

受診者は90人、国籍等の詳細は判明していません。

ボランティアは、医師10名、看護師7名、MSW5名、医療事務5名、学生2名、通訳、英語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、アカン語、他となっています。遠くは千葉県、神奈川県鎌倉市、などです。詳細はおってお知らせします。

久しぶりにあったペルー人、入管から出された直後倒れて救急車で運ばれました。気が付いたら済生会の病院のベッドでした。2回の手術で一命をとりとめました。健康保険がないのでこれから再度診ていかなければなりません。歯が無くて困っています。

4月にであったネパール人、家が無くて山谷で2ヶ月が過ぎて家賃が無くて「死にたい」と訴えています。強いうつ病の薬を20種類位飲んでいきます。

伊勢崎市のペルー人の親子の母親だと思えます。同じように「死にたい」と訴えています。とにかく家賃だけでもなんとかしなければならぬ。

昨年から来ているバングラデッシュ人、奥さんが日本人。しかし奥さんは精神が病んでいるみたい。私に、妻が働きに行っても半日も仕事ができないというのです。すぐに他人の弁当を食べてしまい派遣会社もすぐに首を切るといいます。それは生活保護だよというのですが、仮放免者は在留資格が無いので訴えることができないのではと思います。

家賃の支援団体の担当者が来ていて「このことを聞いて、もっと楽なのかと思っていた」と言っていました。来年は手伝いに来たいと言っていました。

ベトナム人の通訳の若い女性は県の紹介できました。通訳料金を払うことで合意しましたが、当会では今日はすべてボランティアであるのであまりお金の話をしないでね、と言いました。帰るころに「お金はいらない、みんながボランティアでこんな大変な人たちの支援しているのに」と言いました。「今回はお金を受け取ってください。」とお願いして「来年縁があったらボランティアしてネ」と言いました。

医療相談会はかくも65回一度もお金を払ったことはありません。皆さまの無償の愛の結実です。







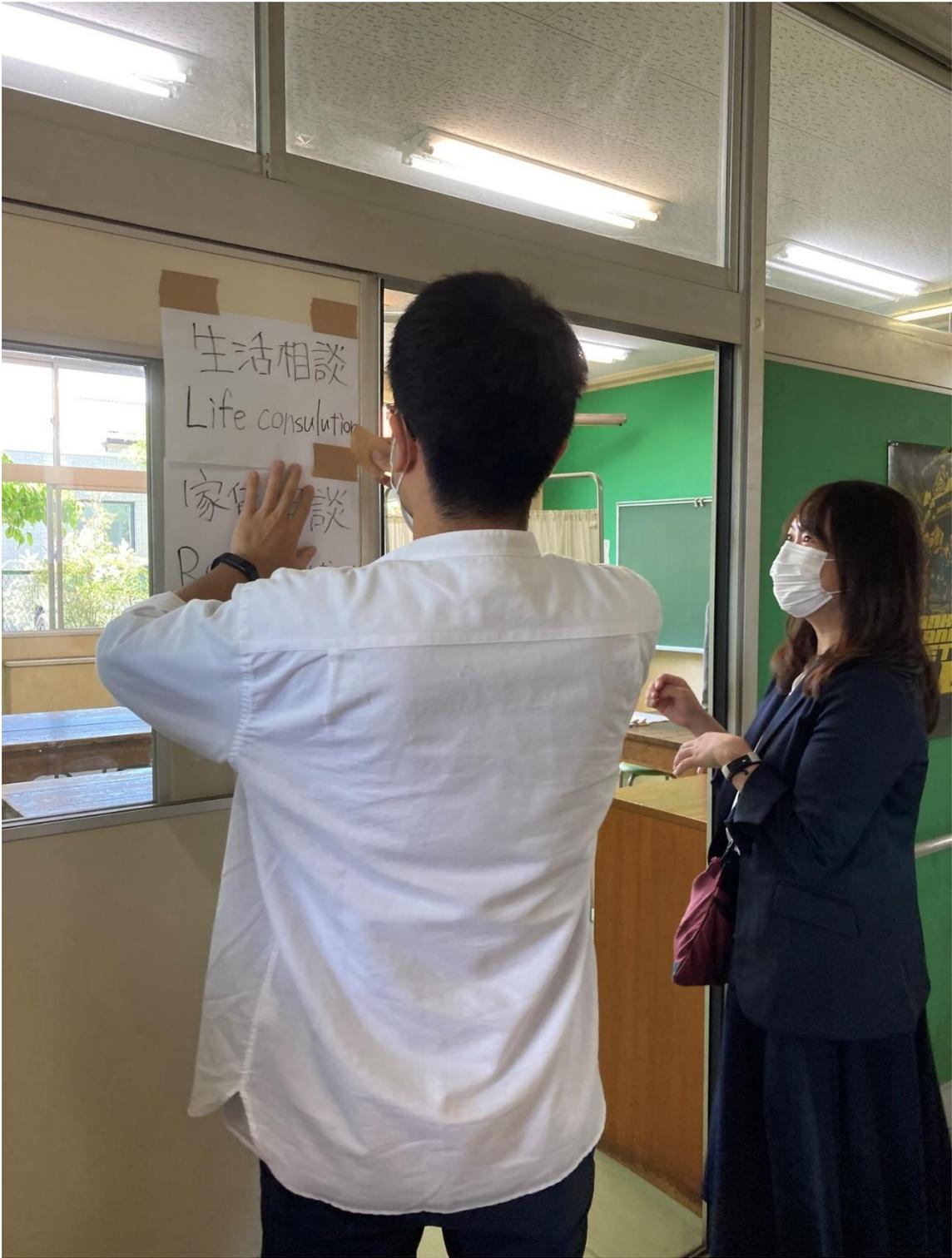














□6月6日「仮放免の外国人ら医療相談 県内外から90人が受診」

皆様へ 日曜日の医療相談会のお知らせです。

[https://www.jomo-news.co.jp/articles/-/294333?fbclid=IwZXh0bgNhZW0CMATAAR01uPZd46\\_kkQMY\\_G2hYjT-vUtMeRU1ogST3SiILZCWtBBymBOBoloZn4Q\\_aem\\_AY9K0bSvdIDcwog55O237jwj6Gum1VIzuP7NMbgt9avat7tJjHoakP1mSS97FzyWfBYtHgJV5-FtW24GxlV2j1qn](https://www.jomo-news.co.jp/articles/-/294333?fbclid=IwZXh0bgNhZW0CMATAAR01uPZd46_kkQMY_G2hYjT-vUtMeRU1ogST3SiILZCWtBBymBOBoloZn4Q_aem_AY9K0bSvdIDcwog55O237jwj6Gum1VIzuP7NMbgt9avat7tJjHoakP1mSS97FzyWfBYtHgJV5-FtW24GxlV2j1qn)

## 仮放免の外国人ら医療相談 県内外から90人が受診

地域の話 社会

公開：2023/6/5 11:00

[シェアする](#) [ポスト](#) [B!ブックマーク](#) [LINEで送る](#) [この記事をクリップ](#)



受診者（手前）の相談に乗るボランティア

生活困窮や病気で苦しむ仮放免の外国人らを対象とした医療相談会が4日、太田市東本町の太田公民館東別館で行われ、県内外から約90人が受診した。

### 【関連記事】

[入管施設仮放免の外国人の9割が生活困窮「とても生きていける状況ではない」](#)

仮放免者は、入管施設での収容を一時的に解かれた法的に不安定な立場で、就労や健康保険への加入が認められていない。

## □6月8日「心の時代 私のガリラヤを生きる」

皆様へ

先が見えた国会となりましたが、入管というより政策的に日本人の外国人嫌いを感ずる国会でした。根本は人間に対するやさしさであったり無償の愛であったり、生きることに対する優しさに国家が寄り添おうとしていないことがはっきりと判明しました。

多くの人がこの姿勢に抗ったのです。自由と生き方が問われ国は今の制度に綻びを見せはじめました。次は市民がはっきりと決着をつけられることを示したいと思います。

NHKの「心の時代 私のガリラヤを生きる」がNHK厚生事業団の扱いとなりました。そのために無料貸し出しとなりましたのでお知らせをします。

VTRによって多くの人々が在留資格のない人や仮放免者の生活実態を知ることができて法整備や人道の配慮ができるようなことになれば良いと思います。多くの皆様の手によって拡散していただきたく思います。

## 【こころの時代－宗教・人生－ 私のガリラヤを生きる】



コード番号：09-23-02

40年にわたり、日本に暮らす外国人困窮者のいのちを守る活動を続けてきた長澤 正隆さん。

難民申請が認められず心を病んだ人、労働現場で深刻な病や大けがを負った人など、日本の入管行政や産業構造の狭間で存在を軽んじられた人のために奔走してきた。その歩みを支えたのは、「ガリラヤ」という辺境の地で虐げられた人のために生きたイエスの姿。北海道の炭鉱町に生まれ、幼少期から貧しき人々のいのちを見つめてきた半生を聞く。

【2022年7月31日放送】

### ご利用について

初めてご利用の方は、お電話でのお申込みが簡単です。

その際、各番組の最後に記載しているコード番号をお伝えください。

電話番号：03-3476-5955「福祉ビデオライブラリー係」

受付時間：平日午前10時から午後5時

送料など、詳しくは[こちらのページをご覧ください](#)。

### □6月9日「こんなに並ぶのは久しぶり」

6月4日の医療相談会の動画を撮ってみました。皆様のところに届くでしょうか。仮放免者もいれば誤魔化して入ってきたものまで90人でした。血液検査もレントゲン車も婦人科検査も行いました。2人「死にたい」と言っている者がいるので次週対応します。こんなに並ぶのは久しぶりです。

<https://www.facebook.com/100000757613782/videos/1209867013025719/>

<https://www.facebook.com/100000757613782/videos/765395975363044/>

### □6月10日「ブラックボックス」

国会で難民法が成立しました。しかし、諦めてはいけません。ブラックボックスがあけたのに中身の審議がされずにいます。このままで言いわけがない。まだチャンスがないわけではない。

## □6月22日「健康／保険／住所」

皆様へ

昨日は移住連とカトリック移住移動者委員会の事務局長の山岸さんの訪問がありました。何やらいろいろ苦労話やらを披露していたようです。事務局は多くの人や年代の違う人によって支えられています。

6月4日の医療相談会のデータがまとまってきました。この中で気になるのは「健康」でない人がこのまま生きるのは良くないと訴えても誰も聞き入れてくれない。

結局自分たちでお金を集めていかなければなりません。前年度は5000万円集めましたが、1年で使い切りました。

このことから仮放免者にも健康保険が必要だと痛切に感じます。

6月22日今日は横浜に行き仮放免者の家族に会いました。仮放免者は甲状腺眼症で治療には200万円ほどかかると言います。弁護士に再審情願をお願いするしかありません。

他には家族の健康保険に加入できないかと思えます。3年前に協会けんぽには加入できたのに在留資格ないので加入はできないとはじき出されました。

また6月22日の午後一番に前から課題となっていた胆石の外国人の家族がきました。一応ダメ元で協会けんぽを申請しようと思っています。一度申請してどこに問題点があるか聞いてみようとおもいました。課題はマイナンバーを取得できていないから困難だということです。

マイナンバーと在留資格については在留資格には住所を特定すればよいだけです。住所は仮放免証の住所と公的機関から発行される住所で確認できないかと聞いてもわからないと答えるだけです。しかし、コロナのワクチンはそれで対応できたのではないか。人は健康に生きてこそ幸せな人生を送れるのです。国は総力を挙げて外国人を不健康にしようとしているとしか思えません。

この時流に逆らいながら仮放免者に協会けんぽ加入の道をつけていきたいと思えます。しいて言えば国民健康保健についても同様にして新しい健康保険制度を求めていきたいと思えます。

## □6月27日「新聞／助成金／共助」

東京新聞6月26日第1面と2面に当会と反貧困ネットワークの支援について報道されました。

第一面の紙面には、東京新聞に仮放免者への寄付金が届いたこと、第二面には当会と反貧困ネットワークの支援についてと窮状となっていることが報道されました。当会も反貧困ネットワークも最近にない支援金が入らなくて困っています。助成金も落選するばかりです。

まさに公助がなくなり共助ばかりとなりました。一体どうしてこうなっているのでしょうか。もしかすると問題の団体ばかりにお金が廻っているのではないかと一体何に使っているのでしょうか。

余計な心配ばかりしています。ご協力のほど願います。

**留資格ない外国人を支援 民間団体 寄付金集め苦勞**

改正入管難  
のない外国人  
の問題は置き  
で民間団体が

NPO法人  
ミーゴス」  
く。一方でこ  
計千百六十五  
行つ。

出入国在留  
国人を仮放免  
が公的支援は  
局長は「私  
集めに苦勞  
一般社団法  
東京都内など  
世帯にシエル  
供。生活費  
る。いづれ  
連絡先は  
4) 504  
貧困ネット

**「この国で生まれ育って」連載  
本紙に寄付相次ぐ**

「苦境外国人の治

六月九日に成立した改正  
入管難民法の国会審議を前  
に本紙が連載した「この国  
で生まれ育って」「入管法  
改正」の陰で、在留資  
格がない子どもや家族の苦  
境を伝えたところ、読者か  
ら寄付や支援の申し出が相  
次いだ。

＝寄付金集め苦勞の面  
インド国籍のクマールさ  
ん(五)＝茨城県＝は在留資  
格がないため働くことがで  
きない。健康保険証もな  
く医療費は全額自己負担

連載  
強制送  
で「家  
心配す  
の思い  
さんは  
を提訴  
を思い  
十万円  
した。  
部にな  
をつけ  
た手紙  
円入り

注)「支援日誌」は長澤正隆 Facebook を基に修正加筆を行った。

## ■支援状況

### □個別支援（アウトリーチ支援）

- ・アミーゴスのメンバーで個別支援。
- ・生活、医療、住宅、入管関係支援を行う

### □食料・生活必需品等の配布

#### ①食料（米、おかず、野菜、調味料など）や生活用品（オムツなど）

件数：116件

費用：16万6951円（送料：13万6951円／購入金額：3万円）

#### ②感染予防のための衛生用品（マスク、石鹸、アルコール消毒液）※偶数月に2か月分送付

### □住居支援

- ①群馬県高崎市に「めぐみアパート」3部屋借り上げ。
- ②埼玉県杉戸町に「すぎとの家」1軒借り上げ。

編集：大澤優真